



認定特定非営利活動法人

青少年の自立を支える会 通信

冬

平成24年

2012年1月

会報 第55号



理事会の一コマ

目次

- 巻頭「私とボランティア」
- 菊池さん挨拶
- 事務局報告
- 理事会報告
- だいじ家報告
- お知らせ



新年明けましておめでとうございます！ 年始の挨拶は理事である多門さんです。3月のコンサートに向けて、ボランティアについて寄稿して下さいました。

私とボランティア

理事 多門 孝

私のボランティアデビューが2000年の「星の家まつり」である。このまつりをきっかけに本会のコンサート、事務局スタッフと関わっていった。その結果、沢山の人たちとの出会いがあったし、2000年当時「星の家」に居た子ども（今30歳を過ぎている）と今でも見守り役的存在で関わっている。

「星の家」を知るきっかけとなったのが、自宅で開催したまつり（ジャズライブ）で、その収益を寄付した児童養護施設で紹介された。この好きなジャズがミュージシャンの倉沢大樹さん、島田絵里さんたちとの出会いを取り持ち、支える会の倉沢大樹コンサートにもつながっていった。

ボランティアは義務ではないし利害関係が発生しないと思う。だから楽しめるものであり、大勢の人たちと力をあわせ目標を達成したときの充実感と感動は得がたいものがある。

相田みつを作品集に「出会いそして感動。人間を動かし、人間を変えてゆくものは、むずかしい理論や理屈じゃないんだなあ。感動が人間を動かし、出会いが人間を変えてゆくんだなあ……」 私の好きな詩である。妻が言う、あの

気難しいあなたが変わったわねえと……これからもボランティアを、無理をせずに続けたいと思う。

ところで、本会の運営も公的資金の充実に加え皆様のご支援でかなり安定してきたが課題は尽きないようだ。昨年末の理事会で、社会的養護を必要とする子どもたちの課題と将来像が話し合われた。

社会的擁護を必要とする子どもたちの施設在籍者数が、義務教育を過ぎた16歳になると15歳の在籍者数の2/3に激減し、その減数は全国で毎年1,000名を超え、年齢が増すごとにさらに減っていくと言う。施設での養護を受けられなくなった子どもたちはどの様に過ごしているのだろうか？当然「星の家」に来る子どももいるがほんの一握り。この義務教育を過ぎた16歳以上の子どもたちの社会的養護がこれからの大きな課題だと言う。

施設の中で与えられた生活を漫然と過してきた子どもたち。当然親の働く姿を見ることもな



いし家庭の生活を知る由もない。果たして施設を出て働いて生活しなければならないことの重みが判るのだろうか？

映画「ALWAYS 三丁目の夕日'64」が話題になっている。人情味があり活気に満ちた時代。金の卵と言われ親元を離れて就職した中学卒業生たちが活躍した時代でもある。このような時代ならまだしも、今の世知辛い世の中で、しかも虐待を受けて心に傷を持った子どもたちが、誰の支援も受けられずに独りで生活することは並大抵なことではない。義務教育を過ぎて、独り立ちを強いられた、あるいは迎えている社会的養護を必要とする大勢の子どもたちをどの様に支援して行ったら良いのか！？

このような子どもたちを実務面で支援するには専門知識が必要となるが、専門知識を持たない私たちにもできることが沢山ある。本会では会員、寄付などの金銭面、まつりやコンサート

の手伝いや物品の提供、「星の家」スタッフの手伝い、「星の家」を退所した子どもの見守り役等々のボランティア……。そして、コンサートに来場することも支援の一つである。

今回開催する本会の倉沢大樹コンサートは10回目の節目を迎え、倉沢さんとの約束で一区切りをつけるファイナルとなる。本会が運営資金難に喘いだ時代にはこのコンサートの収益が「星の家」を支えたと言っても過言ではなく、ボランティアで出演した頂いた倉沢さんを始めとした大勢のミュージシャンの皆様には心から感謝申し上げます。この感謝の気持ちを表すため、ファイナルコンサートの会場を満員にしたい。この機会に是非とも皆様のご来場をお願いしたいと思うのである。

菊池さんは今年度4月から8ヶ月間、「だいじ家」のスタッフをつとめてくださいました。菊池さんを頼って「だいじ家」を訪れる子がいたように、とても貴重で頼れる存在でした。ありがとうございました！

菊池さん挨拶

菊池 知宏

子どもたちを見て最近思うことがある。

子どもたちに必要な支援っていったいなんだろう。私がしていることが、もしかしたら一方的なお仕着せを強要しているだけではないのだろうか。

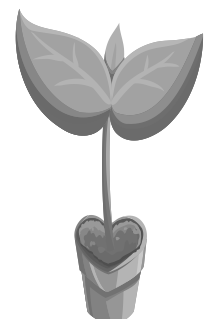
話は変わるが、福岡正信という人がいた。彼は不耕起農法という自然農法を唱えた人だ。彼の様々な偉業の中で「粘土団子農法」がある。それは、麦などの複数の種類の種子をまとめて団子にして農地にばらまいていく。どの種からいつ発芽するのかは種まかせなのである。なかには2年越し、3年越しで発芽するものもある。この農法は日本ではなじみが薄い、アフリカなど諸外国から推奨されている。

福岡さんは粘土団子をまくだけで何もしない。時折成長した野菜が雑草に阻まれて足踏み(伸

び悩み)をしているとき、少しだけ雑草をとって日当たりを良くしてやるだけだ。実際そのやり方で成長した野菜はたくましくて、おいしそう。思うに福岡さんは種それぞれが持っている生命力を信じているのだろう。

野菜にとって本当に必要なものはたくさんの肥料ではなく、野菜の成長ペースに合わせて環境に目配せしてくれる人なんだろうなあ。と思う。

子どもたちも一人一人がひそかに粘土団子を持っていると思う。その中のどの種がいつ発芽するかはわからない。でも、確実にいつかは発芽する。その時までじっと待ってあげたいものだ。



理 理事会報告

12月17日(土)15時から、星の家にて理事会が行われました。

議題は福田理事長の「社会的養護の現状と支える会の今後の課題」についての報告(別紙参照)、寄付金控除、退職金についてでした。

収 益事業報告・お知らせ

去る10月23日、星の家まつりが「若草アリーナ」で開催されました。今年は会場の変更もあり物品数も例年の3分の1と少なめでしたが、皆様のご協力により純利益で

付金特別控除について変わります(平成23年分以降の所得控除に適用される)

平成23年7月の認定特定非営利活動法人制度の改正で、**税額控除**と**所得控除**で選べるようになりました。

認定NPO法人に対する寄付金で、その寄付金の額が2万円を超える場合には、その超える金額の40%をその年分の所得税額から控除できることとなりました。

寄

第15回青少年の自立を支える会
916,849円もの売り上げになりました。(収
入) 984,210円 支出:167,361円
倉沢大樹さん出演のコンサート
先週、きんぎょのご協力ありがとうございました。

倉沢大樹さん出演のコンサートは2002年から始まり今年で11回目を迎えます。前回のコンサートが東日本大震災により中止になったのですが、倉沢さんはじめ出演者の方のご好意で、幻だったコンサートが再演されることになりました。

この11年間、子どもたちのために、中をボランティアでご支援いただき、本会がここまで来られましたのも倉沢大樹さん無しでは語れません。

そこで、今度こそファイナルとなったこのコンサートの会場を倉沢さんへの感謝の気持ちを込めてご来場者で埋め尽くしたいと思っております。是非ともこの機会にお越しください!

開催日: 平成23年11月30日(土) 19時30分(開演)

なお、対象となる寄付金額は、総所得金額等の40%相当額が限度とされ、税額控除額は、所得税額の25%相当額が限度とされます。総所得金額や寄付金額によりどちらが有利かを判断の上、従前の寄付金控除(所得控除)とで選択下さい。

① 寄付金特別控除(税額控除)

$$\left[\begin{array}{l} \text{その年中に支出した} \\ \text{認定NPO法人に対する} \\ \text{寄付金額の合計額} \end{array} - 2 \text{千円} \right] \times 40\% = \left[\begin{array}{l} \text{認定NPO法人} \\ \text{寄付金} \\ \text{特別控除額} \end{array} \right]$$

注、総所得額等の40%相当額が限度です。所得税額の25%相当額が限度です。

② 寄付金控除(所得控除) 従前からのもの

$$\left[\begin{array}{l} \text{その年中に支出した} \\ \text{特定寄付金の額の合計額} \end{array} \right] - 2 \text{千円} = \left[\begin{array}{l} \text{寄付金控除額} \end{array} \right]$$

注、特定寄付金額の合計額は所得金額の40%相当額が限度です。

だ いじ家報告

新だいいじ家がオープンして8ヶ月です。

オープン当初は、緊張してお行儀が良すぎるくらいだった利用者さんたちも、今ではすっかりリラックスし、時にはごろ〜んとしながらくつろいでもらっています。

よく『だいいじ家は何をやる所ですか??』との質問をうけます。

だいいじ家は、社会に出て頑張っている人たちが『くつろぐ所』です。特別なことはあまりなく、みんなでわいわいおしゃべりをしているだけなのですが、定休日の前の日になるとなんと

なく寂しくなったりします。(→裏に続く)

『またね〜』てみ家があることの大☆だいいじ家の活動をブログで掲載しています!!ぜひご覧ください(*^_^*)



☆

<http://daijike.cocolog-nifty.com/>

寄

付・会費納入者

平成23年12月末まで

敬称略・順位不同

●正会費

石川真由美 原澤美穂子 田村範子 田村嘉應 前川聿子
大山千加 橋本優子 齊藤幸子 金子好夫 福田ミヨ 小野
澤喜美 益子亨 小林幸正 加藤祥圭 五十嵐紀久子 郷間
正子 石本真紀 石原栄子 笹沼操 廣田晃三 高橋文吉
笹澤忠雄 青木孝之 若林勝治 山崎順子 渡部桂子 増山
民江 平出景子 白上桂子 増山均 大堀美知 原田寛子
伊藤君恵 沖杉香織 大貫とし子 岩本友子 西田一之 谷
博之 天池悦子 米光啓弥 大金幸夫 宇賀神文雄 藤沼
敏子 高山實 島野剛 藤井幸子 梶田みどり 桧山智子
黒子一子 齋藤修一 糸井克 高原恵子 宇賀神慶子
車田孝夫 大島聡 曾根俊彦 曾根美穂子 阿久津マキ子
碓氷明子 笹沼栄子 田崎祥江 千野ヤイ 加藤久美子 平
岡 真由美 大野由子 佐藤栄 大嶋恭二 朝野春美 小村
嘉子 鈴木崇宏 大島得 岩田友子 中村悦子 渡辺ヨシ子
鈴木 美恵子 茨川典子 早川久子 遠藤忠 下泉秀夫 早
乙女 順子 阿部充子 浅香勉 浅香のり子 生野裕子 仲
村久代 黒澤博子 藤平一恵 北川良江 三枝早苗 加藤雅
子 篠崎孝子 石島浩子 橋本寿美子 橋本充 小坂博子
竹内明子

●賛助会費

直井茂 白井正枝 松田典子 沼尾弘一 湯沢千恵子 秋元
武夫 奥村幸子 毛塚義明 岡田敏江 上野統子 原沢志壽
於 福田仁美 高木勇 平野敬 片岡昌子 阿部美代子 菊
地章夫 金子澄子 古澤栄子 福田しずえ 津崎哲雄 池
節子 斎藤孝子 萩原寿夫 青木武次 吉澤卓男 青野浩子
齋藤レイ子 亀田文子 日野奈々子 渡辺秀子 須黒雪枝
太田黒武久 浜崎豊子 倉田克己 鷺尾倭子 早坂富士香
国分好子 中塚安司 館野晴代 伊藤一 和久井隆 佐藤文
代 塚本和子 森瀧敏子 梶原奈峰 福田富一 半田レイ子
福田喜江子 金崎英美子 高野孝男 橋本伸子 佐藤善光
大島幸治 山越浩子 羽生実穂 和田均 星武 星豊 鶴田
智子 鶴田誠 鈴木由香理 藤田勝春 小倉睦美 山村章子
長久保ウタ子 小平光志 吉田依子 加納真理 松浦万里子
小川守 関谷好久 井上紀代子 上野貞雄 池田とし江 大
野育代 大畑玲子 福田進 枝野啓子 緒方幸枝 小森映子
関年子 江波戸啓悟 菅又里美 築瀬進 築瀬佳子 吉井宏
鈴木照子 古口保 橋本美奈子 永森朋子 伊藤孝子 日下
詩子 藤田美代子 塩野目剛亮 金子達 竹原典子 森久美
子 佐藤道子 高橋とも子 金澤伸子 渡邊里子 青柳美子
熊谷信子 早坂富士香 中村晴美

●新入会員

丹羽 健太郎(正会員) 齋藤 信子(賛助会員)

●寄付者(建物購入借入金返済キャンペーン寄付者含む)

北川良江 大根田陽子 石川真由美 直井茂 石山佳奈 福
田雅章 海老原清修 辻貴子 佐野市更生保護女性会 小村
守志 原澤美穂子 小友茂 埴智江 橋本優子 齊藤幸子
田村嘉應 野口栄子 福田仁美 加藤祥圭 池節子 福田し
ずえ 小林幸正 萩原寿夫 斎藤孝子 五十嵐紀久子 石本
真紀 栗原清治 亀田文子 廣田晃三 笹沼操 笹澤忠雄
渡辺秀子 菊地恵美子 石原栄子 若林勝治 国分好子 青
木孝之 館野晴代 古田美穂子 和久井隆 原田寛子 伊藤
君恵 栃木県シルバー大学中央校押花同好会 西田一之 米
光啓弥 山村章子 小倉睦美 梶田みどり 小平光志 加納
真理 糸井克 高原恵子 大野育代 車田孝夫 ピアニスト
松本和将を応援する会 大畑玲子 枝野啓子 曾根俊彦 曾
根美穂子 安生登志子 笹沼栄子 高橋昭彦 加藤久美子
吉井宏 大嶋恭二 阿久津金子 朝野春美 加藤美恵子 小
村嘉子 子ども権情報ネットワーク 岩田友子 永森朋子
小川秀子 滝澤由紀子 渡辺ヨシ子 藤岡浩美 阿久津美千
代 茨川典子 御幸ヶ原連合婦人会・長寿会 遠藤忠 中村光
子 須藤俊一 土屋キミ 高橋ゆみ子 浅香勉 浅香のり子
生野裕子 黒澤博子 佐藤道子 稲見孝子 小島圭 栃木少
年友の会 三枝早苗 高橋とも子 山田一夫 石山佳奈 加
藤雅子 鱒淵元成 石島浩子 ワールド・ソウル・コーラス
社会福祉法人あけの星会 川田俊彦 宇都宮仏教会青年部
枝野啓子 小坂博子 東京電力労働組合栃木総支部 宇都宮
東ローターアクトクラブ 柿崎みどり 中村晴美 池谷正宏
鷹栖 律子 中村和子 伊達悦子 浦部延子 村山雅子 坂
本政子 渡辺厚子 児玉恵里 本田紘海 日原典子 佐藤貴
美子 小堀栄美子 鎌田篤子 日向野トシ子 多門孝 藤江
泰子 谷崎誠 杉山君子 小野崎千鶴子 福澤宏文 井村正
治 齊藤好江

なお、沢山の方からお米や野菜あるいは日用品などの物品を
いただいております。ご芳名は省略させていただきますが感謝
しお礼申し上げます。

ありがとうございました！

ご不明な点がございましたら当会までお問い合わせください。

【編集後記】

今年で15回目を迎えるコンサート。支える
会が苦しい時期に踏ん張れたのも倉沢さん初め、
無償で出演してくださったアーティストの方々
のおかげです。節目となる今回のコンサートを
客席でいっぱいになりたいと思っています。是非
お越しく下さいね♪

【会費納入及びご寄付の郵便振替先について】

加入者名：青少年の自立を支える会 口座番号：00140-3-366972

* 通信欄に会員種別・寄付金及びその金額をご記入ください。また、ご入会の方は“入会”とご記入ください。

会員種別と金額は、正会員：5,000円、賛助A：5,000円/一口、賛助B：1,000円/一口、賛助団体20,000円/一口です。

振込などの手間が要らない「会費等の金融機関引落し」のご利用をお勧めしております！

発行者/ 認定特定非営利活動法人 青少年の自立を支える会

発行日/ 2012年2月6日

発行責任者/ 福田雅章

編集責任者/ 曾根俊彦

所在地/320-0037 栃木県宇都宮市清住 1-3-48

電話/028-666-6023 FAX/028-666-6024

Eメール/ sasaeru@snow.ucatv.ne.jp

HP/ http://www2.ucatv.ne.jp/~sasaeru.snow/